

# 大和郡山 防災ニュース 31.2月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

## 地域防災一步進めてもらえませんか！

●自主防災会長の皆様には、

「『災害時避難行動要支援者名簿』の活用について」

●(自主防災組織未結成の)自治会長の皆様には、

「自主防災組織の結成について」を、送付しました。

災害時避難行動要支援者名簿は、平成29年2月に、市内約1900名分を、平成30年4月には、新たに名簿掲載同意をされた方を含め、約4200名分の名簿を市内の支援者（民生委員、消防団、警察署、消防署、社会福祉協議会、市と協定を結んだ自主防災組織）に配布しました。



これら支援者の中で、地元に着しかつ人員的な動員力が期待できるのは、地域の自主防災組織です。ところが、最初の名簿の配布から約2年経過しましたが、協定を締結してこの「災害時避難行動要支援者名簿」をご活用いただいているのは、市内で20の組織のみとなっております。このため、今回、この名簿の活用を焦点を当ててお願いする文書を210の自主防災組織に送付いたしました。この機会に地域の皆様にはぜひ名簿活用をご検討くださいますようお願いいたします。

### 名簿はどうやって使うの？

市と協定を結んで名簿を受け取ったら、次にどのようなことをすれば良いのでしょうか？

まず、お願いしたいのは、名簿に登載されている要支援者が災害時どのような支援を望んでいるのか、1軒ずつ聞き取っていただきたいです。一口に要支援者と言っても、寝たきりの方もおられれば、体は動くけどいざという時への漠然とした不安で名簿に登載されている場合もあります。

個別に支援者をしっかり決めておく必要のある人、グループ単位で

避難リーダーとしての支援者を決めておく程度でいい人、要支援者同士で避難ができる人、電話などで状況を聞く程度でいい人など、分類をしていきます。

聞き取りによって、地域で顔の見える関係が徐々にでも構築されていくと要支援者にも安心感が広がります。

なお、聞き取りに当たっては、地域の民生委員さんとも協力・連携していただけたら、なお良いかと存じます。



## 自主防災組織未結成の自治会の皆様へは！

自主防災組織が未結成の87の自治会には、結成をお願いする文書に「自主防災組織運営の手引」を添えて送付しています。自主防災って、まず何をすればいいの？という自治会の皆様には、この「手引」をぜひお読みください。さらに、自主防災の大切さを住民に知ってもらうための、市職員による自治会への出前防災講座などご希望の場合もお気軽に市民安全課までご連絡ください。なお「自主防災組織運営の手引」は市民安全課窓口でも配布しています。

## 市内の企業や団体から防災協力事業所登録(協定)してもらっています。

いざ災害時に、食料品、生活用品や復旧応急作業のための資材、機材、運搬等の労力を提供する登録(協定)を36の企業・団体からいただいています。これにより、例えば食料品であれば、数日間で10万食以上の供給が可能であり、市の備蓄食料と合わせて、災害発生から国による本格的な援助物資が得られるまでの数日間を乗り切るための大きな力になります。なお、登録企業・団体名については、市ホームページに掲載しています。



大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課